

市民記者のみなさんが語る 筑西のホットな話題や今年の目玉！

市民の目線から、イベントや団体の活動、地域問題などをお届けしてくれた、市民記者。今年度の執筆を終えたみなさんに、今年の注目の話題や活動の感想を伺いました。

田角 道の駅にたくさんのファンができてほしい

今年度は、身近で面白い話題の「道の駅」を取り上げました。「グランテラス筑西」のオープンは、今年最大の話題です。「オール筑西」のおもてなしで、ファンをがっちりつかみ、1人でも多くのファンができればうれしいです。隠れファンが増えることも期待しています。まずは北関東ナンバーワンを目指して欲しいです。

平 貴重な経験ができたことに感謝しています

市民記者として、ボランティアによるアジサイ祭りや新治廃寺跡の保存活動などを取材することができ、感謝いたします。

工事中の道の駅を見る度に、完成が待ち遠しくなります。道の駅を拠点に、新治廃寺跡、新治郡街跡などの観光地化が進むことを望みます。

藤 7期に渡る市民記者の活動を振り返って

担当記事の執筆は、有識者への取材から責任ある内容の記事にするまで緊張しました。他の記者の掲載記事でも多面的に取材し、充実した内容になるよう、全員参加で取り組んできました。筑西市の知見を得るうえで、大変勉強できたことを感謝しています。多くの人に、この貴重な体験をして欲しいと思っています。

和田 筑西市の歴史や伝統を多くの人に伝えたい

昨年は、伝統的な行事だけでなく、新しいイベントにも積極的に参加させていただきました。

筑西市には、長い歴史とすばらしい伝統があります。今年は、これまで記事にしたことより更に歴史を掘り下げて、まちの発展の様子について紹介していきたいと思えます。



新治廃寺跡（久地楽）で、市文化課の職員から説明を受けました。この地の観光地化への可能性を感じました。



完成が待たれる、道の駅「グランテラス筑西」の現在の様子（2月18日撮影）。今年の筑西市の目玉であり、にぎわい創出の拠点として私たちに楽しさを届けてくれるものになってくれることを願います。

星 新たな発見が活動の楽しみに

市民記者としての取材を通して、新たに知ったことや発見が多く、楽しみながら活動することができました。

今年行われるイベントでは、全国報徳サミットの開催を特に楽しみにしています。私たちのまちとも関わりあつた二宮尊徳（金次郎）について、勉強してみたいと思っています。

次回は、筑西4大祭りのひとつ「あけのひまわりフェスティバル」について紹介したいと考えています。



市民記者のページ



今年度このページを担当してくれたみなさん
 角田光雄さん(三郷) 渡邊利一さん(旭ヶ丘)
 原周二さん(一本松) 武田勝義さん(門井) 武藤州輝さん(小川)
 星野道子さん(向上野) 仁平幸子さん(下高田)
 館野敏子さん(関本上) 和田恵子さん(榎生) 大泊知子さん(黒子)



中村宝水資料館(関館)では、展示されていた資料の歴史的価値に、記者一同大変感銘を受けました。

野 中村宝水資料館を みなさんにも見てほしい

1年の活動を振り返ると、記者のみならず皆さんと共に各地に行くことができたことが思い出です。特に、関城跡に関する資料を展示した、中村宝水資料館に感動しました。多くの人に見てもらい、関城の歴史を知ってほしいと思いました。

世界湖沼会議では、小学生が水を守るようと自分たちで考え活動していることや、各国のボランティアの人々の活動が印象に残りました。

武 地域資源を再発見 することができました

1年目ということもあり、取材の大変さ、難しさを実感しました。想像以上の思いや言葉に触れると、驚きとともに取材のうれしさを感じました。

今年は、道の駅の完成と国体の開催が楽しみです。多くの人が筑西市を訪れることで、まちの景観が変わって来ると思います。

次回記事を書く際には、活気あるまちの雰囲気をお伝えしたいと思っています。

泊 地元愛にあふれた人との 大交流が刺激に

取材を通して筑西市の新たな魅力を知りました。また、地元愛にあふれた人たちから多くの刺激を受けました。

今年は、いきいき茨城ゆめ国体の開催を楽しみにしています。筑西市で行われる剣道を見に行くつもりですが、他の市町村で行われる競技も見に行き、茨城県の選手を応援したいです。

渡 みなさんに役立つ情報を 届けていきたい

今年度は、高齢者の交通に関する記事を書きました。市民のみなさんに役に立つような記事を書くことができましたかと思っています。

今年の注目は、やはり道の駅のオープンです。野外ステージでの催し物を楽しみにしています。自分のバンドで演奏してみたいと考えています。

原 身近なものにも 新たな発見が

身近なできごとこの情報は何となく頭にあるものの、深くは知らないことが多いことに気付かされました。

あけのひまわりフェスティバルは、筑波山を借景とする大いなる観光資源であり、地域おこしのための要素があると思います。今年も多くの人でぎ

わってほしいです。